

えちごせきかわ 大したもん蛇まつり

【新潟県関川町】

- 羽越水害（1967（昭和42）年8月28日）により、関川では死者・行方不明者34名が犠牲。
- 羽越水害後20年を契機に始まった、村の大蛇伝説と交え、水害を伝承する祭。
- 水害発生日の数字に合わせ、82.8mの大蛇を竹と藁で作成し、町内を練り歩く。

※佐藤翔輔 東北大学 災害科学国際研究所 准教授
による研究成果

- 4人に3人は、羽越水害発生日を知っており、大蛇の長さが影響していると考えられる。
- 祭りによく参加している人が、災害に対してよく備えを行っている。但し、水害の伝承や家族と話し合うことの方がより、関係している。
- 祭りは防災行動に直接作用せず、祭りの参加は災害の記憶を醸成し、記憶が住民の防災行動に影響している。

【出典：佐藤翔輔，流域治水に関する事例報告，国土交通省「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会」第2回検討会資料（原典：佐藤翔輔(2020)：1967年羽越水害の伝承手法としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」の成立・継続・効果に関する調査・考察，自然災害科学，Vol. 39, No. 2, pp. 157-174(ほか2編)】



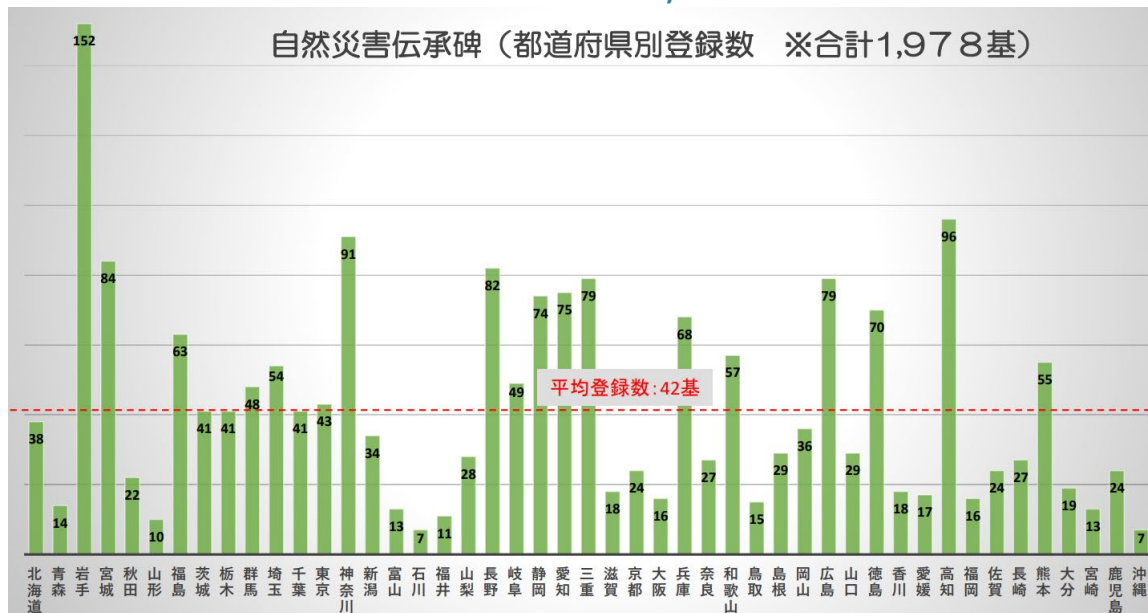
【今年度のポスター】

【出典； <http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/tourism/209/index.html>】

自然災害伝承碑

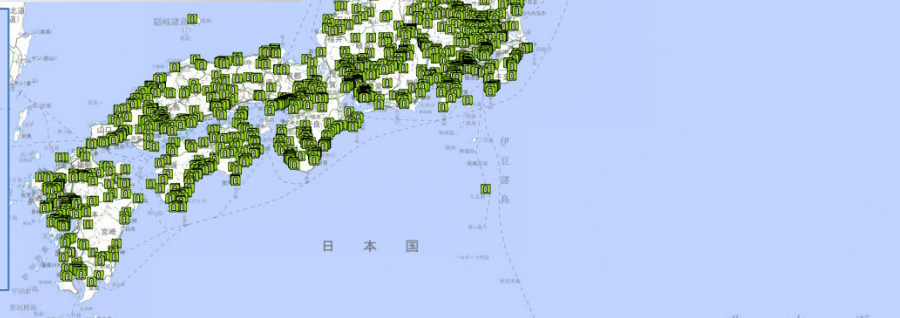
- 国土地理院のウェブ地図「地理院地図」に掲載開始(2019年6月19日)
- 登録数 全国566市区町村1,978基(2023年8月24日時点)

【自然災害碑位置図】



【出典; JICE資料】

※今年度の道徳教科書(中2)
に取り上げている事例あり。



【出典 ; <https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>】

まとめ

- 多様な水害リスクを把握し、どのような水害リスクに備えなければならないのかを考える。
- 水害リスク、学校の利用形態（避難場所など）などを考慮しながら避難確保計画を作成し、訓練する。
- 学校施設のそれぞれの機能の重要性に応じた水害対策を実施する。